

2023年度 地域密着型金融の取組み

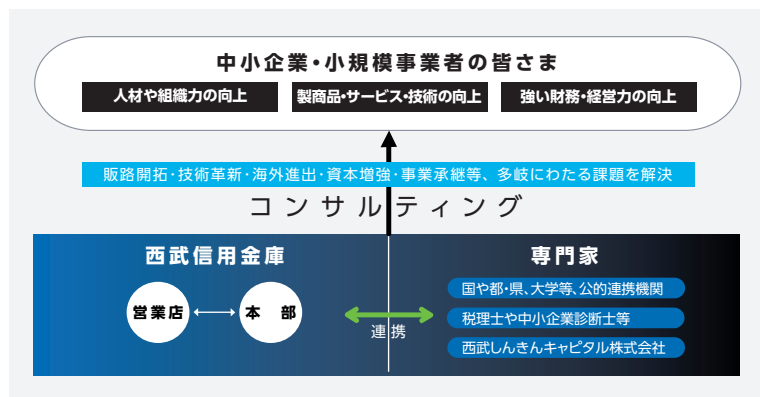
事業支援	1
起業ステージ	1～2
成長・円熟ステージ	3～6
資産形成・管理支援	7～8
街づくり支援	9～11
2023年度の実績	12

中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組み状況

事業支援

“ 当金庫は、中小企業等経営強化法の認定経営革新等支援機関として、下記のコンサルティング体制のもと地域発展の担い手である中小企業・小規模事業者の皆さまの新しい環境の変化に合わせた持続可能な成長をサポートしています。 ”

●中小企業コンサルティング体制



●主な事業支援実績(2023年度)

1. 専門家派遣による支援	675先 1,321回
2. 公的支援策活用支援	356件
3. ビジネスマッチング支援	5,161件
うち受発注成約支援	896件
4. 産学連携支援	163件

●経営課題に応じた事業支援のための各種資格取得状況(2024年3月31日現在)

	2023年度
中小企業診断士資格保有者数	29名
宅地建物取引士資格保有者数	115名

●経営支援に関する取組み状況

起業 ステージ

創業・新規事業開拓期は、ビジネスとして成功するために必要な経営資源(人・物・金・情報)が乏しいことから、起業への第一歩を踏み出せない方も多くいらっしゃいます。当金庫は、こうした課題を解決するため、ニーズに応じた支援メニューを取り揃え、皆さまの起業をご支援しています。

1. 将来の産業を担う、スタートアップ企業のサポートを強化！

TOKYO Startup Nexusの発足

当金庫では、将来の産業を担い、社会課題の解決や経済成長に資するスタートアップ企業を支援するプラットフォームとして2023年11月に「TOKYO Startup Nexus」を発足しました。これまで行ってきた、西武しんきんキャピタル株式会社(当金庫子会社/2003年設立)による20年以上にわたる直接的な支援と、スタートアップ企業向け投資ファンドへの出資を通じた支援により得られたネットワークや知見を活用し、信用金庫を基点とした“つながり”と、協創を基軸としたスタートアップ企業の支援に取り組んでまいります。





ベンチャー・ビジネス(VB)投資

新規事業に挑戦しているお客さまに対し、西武しんきんキャピタル株式会社を通じてエクイティ資金の供給を行っております。子会社設立以降のべ141社のVB投資を実行し、うち14社が上場を果たしています。

2003
～2023

141社

2. 創業期の資金需要とノウハウや知識をバックアップ！

創業融資

2023年度は、384件の創業融資を実行し、創業期の多様な資金需要にお応えしました。

2023

384件

創業セミナー・創業塾・個別創業相談会の開催

地域の自治体や団体の協力のもと、新たなビジネスを成功させるためのマーケティングや組織管理、財務等の経営面のノウハウをわかりやすくお伝えする「創業セミナー」や「創業塾」、「個別創業相談会」を開催。創業の知識やノウハウ習得にお役立ていただきました。



3. コンテストで創業期を応援！

ビジコンなかの2023

2020年より中野区の協力のもと開催している、中野区創業応援プロジェクト「中野区ビジネスプランコンテスト」。2023年度も西武信用金庫主催・中野区共催・三井住友海上火災保険株式会社協賛で『ビジコンなかの2023』を開催しました。応募受付・応募ビジネスプランのブラッシュアップを経て、7名のファイナリストが選出。2024年2月7日に当金庫本部にて最終選考会および表彰式を開催し、コンテストを通じた創業のご支援をしました。



事例

発達障がいのある子どもたちを支援する教材の開発に係る創業を応援したケース

A社は、「発達障がいのある子どもたちの将来の選択肢を増やしたい」という想いで2022年に創業。発達障がいのある子どもたちがテクノロジーを活用して学ぶ教材を開発し、多様な学び方を必要とする子どもたちの「好き」や「得意」を伸ばす独自のカリキュラムを提供しています。当金庫は、A社の創業期における情報提供（創業セミナーへの参加）や自社PR（ビジネスプランコンテストへの参加）、および資金調達等、その活動を応援しました。

4. ビジネスアイデアの発掘をお手伝い！

「知財活用スチューデント・SDGs QUESTみらい甲子園」

当金庫では、2014年より、大手企業の開放特許を用いた新事業を学生より募る「知財活用スチューデントアワード」を開催しております。本アワードは「知財」をキーワードに発想力豊かな学生と技術を有する地域の中小企業をつなぎ、持続可能な社会創出を目指すものです。2023年度は、5大学9チームが12月11日の最終発表会まで進み、大手企業の開放特許（2社6知財）を活用した新ビジネスのプレゼンテーションを行いました。

また、SDGsアクションアイデアコンテスト2023年度「SDGs QUESTみらい甲子園 東京都大会」に初協賛し、高校生による社会課題解決に向けたSDGsアクションへのチャレンジを応援しました。

本コンテストは、全国開催エリアの高校生たちそれぞれがチームを組み、主体的にSDGsを探究。様々なアクションアイデアを創出・発表・表彰する大会です。東京都大会では、「西武信用金庫賞」を設置。受賞チームのアイデアを称えました。今後も「持続可能な社会の担い手」を育てる活動を応援してまいります。



2023年度 知財活用
スチューデントアワード
最終発表会



SDGs QUEST みらい甲子園
東京都大会ファイナルセレモニー

成長・円熟 ステージ

成長・安定期、円熟期における各社の経営課題は、業種や市場等で異なり、その解決手段也多岐にわたります。当金庫は、それら多種多様な経営課題に対し、専門家派遣や事業診断、資本強化策等、適切な支援メニューを適宜ご提案することで、中小企業のライフステージに合わせた支援を行っています。

1. ビジネスイベントを通じて、事業をバックアップ！



2大ビジネスイベントの開催

2023年度も、当金庫恒例の2大ビジネスイベントをリアル開催しました。

各イベント会場には、こだわりの食材で「美味しい」を追求する飲食・食品製造業等や、日本の中小企業の技術力が詰まった製品で勝負するものづくり企業に出展いただきました。また、他信用金庫のお客さまからも出展いただく等、地域の垣根を越えたマッチングの場として、サステナブルな取組みの紹介やDX、GX促進に向けたサービスの紹介等を通じて、多種多様な事業者のステップアップを後押ししました。

第17回東京発！ 物産・逸品見本市

出展社・団体数:89

バイヤー・サプライヤー参加社数:23

商談件数:91



第23回ビジネスフェア

出展社・団体数:225

来場者数:3,253

マッチング件数:2,734



2. お客さまのつながりを深める各会を通じて事業をお手伝い！



西武100年企業の会

当金庫は、老舗企業のサステナブル等への取組みやノウハウを、当金庫内外に発信し、地域経済およびお客さまの事業の継続性を高める取組みとして、2023年6月に「西武100年企業の会」を発足しました。本会は、当金庫のお客さまのなかから創業100年を超える企業を組織化し、相互の親睦・交流と有益な情報の共有化を行うプラットフォームとなっており、2024年度以降さらに積極的な情報発信の場として、お客さま同士の交流の活性化につなげてまいります。



女性後継者の会「SEIBU LADY LINK」

2022年7月に発足した女性後継者の会「SEIBU LADY LINK」では、会員の皆さまからアンケートをとり、各回それぞれ違うテーマをもとにイベントを開催することで、会員の皆さまの“真の課題解決”に取り組んでいます。2023年度は3回のワークショップを開催しました。女性後継者さまに寄り添うことで、お客さま同士の対話や交流が生まれ、女性後継者さまのコミュニティ形成や事業承継、経営・メンタル面の伴走支援を強化しております。



3. セミナーや相談会で経営課題解決をサポート！



各種セミナー・相談会の開催

当金庫では、時流に合わせた事業者向けのセミナーや相談会を定期的開催し、お客さまの事業に役立つ情報をタイムリーにお届けできるよう努めています。





事業支援



資産形成・
管理支援



街づくり支援

4. 新融資商品や私募債の活用で事業をバックアップ！

当金庫は、時流に合わせた融資商品の提供とSDGs私募債の取扱いを通じて、お客さまの様々なニーズに合わせた資金需要にお応えできるよう尽力しています。

東京都中小企業制度融資「金融機関提案」融資

東京都が取り扱う中小企業制度融資の融資メニューのひとつである、東京都中小企業制度融資「金融機関提案」融資に2022年10月（2商品）、2023年10月（1商品）採択され、地域事業の資金調達にお役立ていただいています。

西武SDGs私募債

当金庫は2022年10月より、SDGs推進に取り組む企業のご支援およびSDGsの普及拡大と寄附を通じた地域貢献の一環として、「西武SDGs私募債」の取扱いを開始。2023年度も地域でSDGsに取り組む9社のお客さまから「西武SDGs私募債」を引受けし、お客さまへ記念楯の贈呈式を順次開催しました。

1. 西武脱炭素支援

西武信用金庫連携先のご支援により、自社のCO₂排出量の算定（可視化）を行っている都内中小企業者または組合のお客さまを対象としています。

2. 西武BCP支援

西武信用金庫連携先のご支援により、自社のBCP等を行っている都内中小企業者または組合のお客さまを対象としています。

3. 西武健康経営支援

西武信用金庫連携先のご支援により、「健康優良企業」および「健康経営優良法人」の認定取得、または、既に認定取得済でさらに健康経営の偏差値を上げたい都内中小企業者または組合のお客さまを対象としています。



事例

西武SDGs私募債（寄附型）発行に伴いSDGsの達成を目的とする寄附を実施いただいたケース

B社は、玩具製品製造販売を行う老舗企業。寄附を通じた地域貢献に取り組んでいる「西武SDGs私募債」に共感いただき、西武SDGs私募債（寄附型）として私募債を発行。SDGsの達成を用途とする寄附（私募債発行額の0.2%以上）として、持続可能な社会の実現に向けた活動を行うC社に対して、企業研修や介護セミナーで体験用される備品の寄附を実施いただき、B社の社会貢献活動の取組みの一つとして、「西武SDGs私募債」をご活用いただきました。

5. オープンイノベーションピッチでビジネスマッチングをお手伝い！

第2回西武オープンイノベーションピッチ

当金庫は、企業間連携等のマッチングを目的として2022年11月「第22回ビジネスフェア」内のイベントとして開催した「西武オープンイノベーションピッチ」を、2023年度は「第2回西武オープンイノベーションピッチ」として独立開催しました。今回は、7社の企業さまが登壇してプレゼンテーションを行い、296名の方にご参加いただきました。各社のニーズをうけた新事業は、イベント参加者との連携で事業化を図ってまいります。



6. トップラインサポートオフィスをバックアップ

当金庫は、2021年1月より、「トップラインサポートオフィス」を開設しました。ビジネスを取り巻く環境の変化をとらえ、お客さまの売上や販路開拓等のトップライン引き上げのサポートに努めています。2023年度も、DX・GXの促進支援、事業承継支援等、お客さまの様々な事業課題の解決に提携先と連携を図りながら取り組みました。

専門家派遣事業

お客さまの多岐にわたる課題を専門家のノウハウで迅速に解決する「専門家派遣」態勢を構築し、課題解決に努めています。

■専門家派遣 フロー図

1 相談受付

問診申込み

2 現状把握

専門家・金庫職員が
相談内容をヒアリング

3 解決策の提案

専門家・金庫職員が
解決策を提案

4 解決策の実行

・支援メニューの活用
・連携機関のご紹介
・資金支援等具体的な解決策を実行



事業支援

DX推進支援

事例

DXを活用しながらCO₂排出量可視化から削減に取り組んだケース

当金庫A支店取引先の卸売販売事業者D社は全国に多店舗展開しており、大手取引先も多いことから、CSRへの取り組みを行っていました。そのような状況を知った営業担当者より、当金庫連携先を紹介し、「IT導入補助金」を活用してCO₂排出量可視化ツールの導入を提案。この提案により、IT導入補助金の申請、CO₂排出量の可視化を実現することができ、さらに、CO₂排出量削減目標を定める「中小企業版SBT認定」の取得に向けた取り組みにもつなげることができました。

環境経営支援

「エコアクション21相模原セミナー」の開催

2023年7月、相模原市内の事業者のお客さまを対象に「エコアクション21相模原セミナー」（主催：相模原市、共催：西武信用金庫）を開催しました。本セミナーは、相模原市と当金庫が2022年に締結した「脱炭素社会の実現に関する連携協定」に基づく取組みで、外部講師による講義「企業としてSDGs・脱炭素に取り組む第一歩をみつける」や、EA21地域事務局かながわさまによる「エコアクション21自治体イニシアティブ・プログラムの概要説明」を実施。エコアクション21の周知を図りました。



健康経営支援

事例

当金庫提案による「健康経営優良法人」認定取得につながったケース

E社に対し、健康経営の認定取得の提案を実施したところ、社長より「従業員の健康増進」、「会社のブランディング」を目的に健康経営の認定取得に取り組みたいとの要望がありました。そこで、当金庫連携先の専門家を紹介し、「健康経営」の取組みをスタート。2023年8月に東京都「健康優良企業（銀の認定）」を取得。2023年10月、経済産業省「健康経営優良法人2024」認定を申請し、2024年3月の認定取得まで一連してお手伝いをさせていただきました。

事業承継支援

事例

M&Aを通じて複合的な取引深耕につながったケース

事業の選択と集中を理由にF社（代表者は48歳）より当金庫営業担当者へM&Aの相談があった。当金庫は本部と営業店が連携し、当金庫提携先のM&A仲介業者を紹介し、事業の査定・企業概要書の作成支援を行いました。その後、不動産管理業を営むG社（賃貸管理業の強化ニーズあり）へF社を紹介したところ、買収意思の確認が取れたため、G社にて買収を進めていくこととなりました。営業店ではG社に対する株式買収資金の支援やF社代表者への譲渡代金の運用相談等、複合的な支援を行い、お客さまとの取引深耕を図ることができました。

海外展開支援

海外に活路を求める企業ニーズの高まりから、当金庫は海外進出に特化した相談窓口「海外展開サポートデスク」を2011年に設置。いつでもご相談いただける態勢を整えています。また、海外での資金調達や販路開拓等、海外展開に必要なノウハウやネットワークを持つ専門機関と連携を図り、海外進出を身近なものとして取り組んでいただけるよう努めています。

■「海外展開サポートデスク」支援フロー図



事例

海外電子商取引(越境EC)を活用した海外への販路開拓がかなったケース

H社（ファッションアパレル企画販売）は自社ブランド婦人服を海外向け電子商取引で販売したいと考えていたが、自社に最適な越境ECの選定が課題でした。

当金庫から派遣した越境EC専門家の伴走サポートを受けながら、費用面はIT導入補助金を活用し、海外向けの自社サイト構築や、ヨーロッパをターゲットとする越境EC（190の国と地域へ展開するマーケットプレイス）への出品を完了することができました。

現在、自社ショップへの訪問率・購買率アップに必要なプロモーション施策を充実させるため、引き続き専門家の支援を受けています。



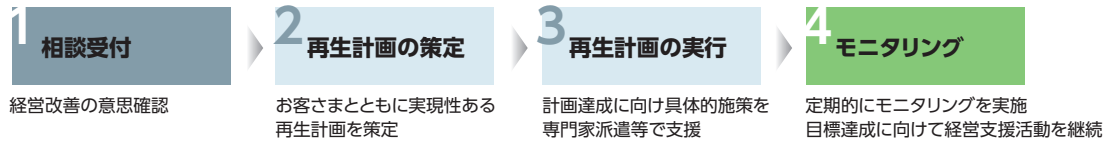
7. 事業再生支援でバックアップ！



当金庫は再生支援の担当部署を設け、きめ細かなご支援を行い、お客さまとともに事業再生に取り組んでいます。2023年度は125件の事業再生計画を策定しました。

2023
125件

■再生支援
フロー図



また、2022年10月より、リレーションシップバンキングセンターを設置し、当金庫メイン先・非メイン先を問わず、信用金庫として地域経済に影響がある先等に深く関わり、金融支援だけに留まらず、ヒト・情報・ネットワークを駆使し、事業そのものを支援することで、お客さまの企業価値向上を目指しています。

事例

リレーションシップバンキングセンター長による事業支援活動の強化

当社は大手メーカーを主要取引先として事業を展開。コロナ禍に業績が落ち込み、自社で経営改善計画を策定して業績が回復していたものの、コロナ禍で調達した借入金の返済負担が重く、厳しい資金繰りを強いられていました。リレーションシップバンキングセンター長は、借入金の構成を見直し、政府系金融機関や保証協会等と協調して、借換融資を実施。現在のキャッシュフローの範囲の返済条件を設定して、資金繰り改善に貢献しました。将来の設備投資資金についても他金融機関と協調していく道が開かれました。

●経営改善支援の取組み実績(2023年度)

	期初 債務者数	うち経営 改善支援 取組先数	Bのうち期末に 債務者区分が ランクアップ した先数	Bのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先数	Bのうち 事業再生計画を 策定した先数	経営改善 支援 取組率	ランク アップ率	事業再生計画 策定率
	A	B	C	D	E	B/A	C/B	E/B
正常先	15,678	94		81	94	0.60%		100.00%
要注意先								
うちその他要注意先	6,246	309	6	297	309	4.95%	1.94%	100.00%
うち要管理先	19	4	—	3	4	21.05%	—	100.00%
破綻懸念先	605	67	—	67	67	11.07%	—	100.00%
実質破綻先	129	—	—	—	—	—	—	—
破綻先	25	—	—	—	—	—	—	—
合計	22,702	474	6	448	474	2.09%	1.27%	100.00%

*「経営改善支援取組率」および「ランクアップ率」は小数点第3位を四捨五入して表示しています。

●経営者保証に関するガイドラインへの取組み状況

当金庫では「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入や保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドライン等の記載内容をふまえて十分に検討する等、適切な対応に努めています。

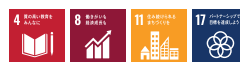
	2023年度
新規に無保証で融資した件数	3,562
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	47.18%
保証契約を解除した件数	206
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	1

*「新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合」は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

資産形成・管理支援

“ 当金庫は、お客さまのライフプランを、はじめる世代、そだてる世代、準備する世代、引き継ぐ世代と分類し、地域のお客さま一人ひとりに寄り添い、多様化するニーズに対応し、きめ細かなご提案をすることを目指し活動しています。
 ”

1. 地域の相談拠点の強化で、お客さまの暮らしをバックアップ！



暮らしの相談センター

当金庫は、2022年7月に入間支店内、2023年2月に杉並営業部内に「暮らしの相談センター」を開設し、日々のお客さまからの様々なご相談にお応えしております。

「暮らしの相談センター」では、お客さまのお金に関するお悩みはもちろんのこと、暮らしにまつわる相談をお受けいたします。地域の皆さまとのつながりを広げ、深めていき、豊かで安心した暮らしの実現のためのお手伝いを積極的に展開しています。

名 称 **入間支店内「暮らしの相談センター」**

所 在 地 **入間市久保稲荷4-1-21**

電話番号 **04-2966-1511**

名 称 **杉並営業部内「暮らしの相談センター」**

所 在 地 **杉並区上荻4-29-15**

電話番号 **03-3301-7111**

2. 各種相談会・セミナーの開催で暮らしをサポート！



年金相談会

当金庫では、社会保険労務士による「年金相談会」を各営業店にて定期的開催しています。また、2022年2月より、WEB面談による随時受付対応の年金相談サービス“オンライン「ちょっと年金相談」”を実施しています。地域のお客さまの年金に関する疑問やお悩みをお気軽にご相談いただき、専門職員のアドバイスを老後の資産計画の参考にいただいています。また、年金に関する調査を郵送にて行う「年金郵送調査」のお申込みをWEBで受付する「年金郵送調査WEB受付」の取扱いを開始しました。

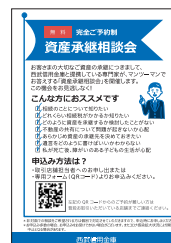
- 年金相談会開催回数(2023年度)：358回
- 年金相談会相談件数(2023年度)：1,913件



資産承継相談会・資産運用相談会

地域のお客さまの老後や相続等に関するお悩みをもっと気軽にご相談いただける環境づくりとして、資産承継相談会を定期的開催しています。また、地域のお客さまへの資産形成・運用に関する情報発信として、資産運用相談会を各営業店と本部が連携して開催しています。

- 資産承継相談会・資産運用相談会開催回数(2023年度)：69回
- 資産承継相談・資産運用相談件数(2023年度)：369件



事例

お客さまの状況変化に迅速にお応えし、遺言作成までお手伝いできたケース

Aさま(ご主人)は、ご自身の入院をきっかけに相続について不安を感じたため、入院中のご本人に代わってご長男が当金庫主催の資産承継相談会に参加されました。ご長男から、ご両親ともに体調が良くないことや、二人兄弟のうちのご次男が地方在住であることをお聞きしました。そこで、提携先専門家の先生と一緒に当金庫営業担当者から、将来発生する相続手続きについて説明するなかで、手続きをスムーズに進めるためにはAさまに遺言書を作成していただくのが良いのではないかとご提案しました。Aさまの体調がすぐれず面談が難しいこともありましたが、ご長男の協力や当金庫営業担当者と提携先専門家の連携により、約2ヵ月で公正証書遺言を作成することができ、Aさまにはご安心いただけました。



認知症予防セミナー等

2023年9月9日にフコクしんらい生命保険株式会社・KU MON学習療法センターと共催、9月11日には青梅信用金庫・多摩信用金庫も加わり合同開催として「認知症予防セミナー」を開催しました。また、暮らしの相談センターを中心に、各営業店内で、お客さまの生活に密着したセミナーを開催する等、資金面だけではなく暮らしに関わる様々な悩みや相談等にお応えさせていただき取組みを実施しています。

- 認知症予防セミナー参加者数(2023年度)：492名
- 暮らしの相談件数(2023年度)：50件
- 暮らしの相談セミナー参加者数(2023年度)：202名



3. イベントの復活で、お客さまの暮らしをバックアップ！



西武年金友の会各種イベント完全復活！

近年新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催できなかった、年金をお受取りいただいているお客さまを対象にした西武年金友の会3大イベント「日帰り旅行」「お笑い寄席」「観劇会」を、2023年度は4年ぶりに完全復活させました。



- 会員数▶▶81,404名(2024年3月31日現在)
- 「お笑い寄席」参加者数(2023年度)▶▶7,079名
- 「日帰り旅行」参加者数(2023年度)▶▶1,172名
- 「観劇会」参加者数(2023年度)▶▶1,334名

4. 従業員さま向けの出張セミナーで、資産形成・管理をお手伝い！



事業所・団体向け出張セミナーの開催

当金庫では、事業を営むお客さまやその従業員さま向けに、専任の担当者による資産運用・資産形成等のセミナーまたは相談会を開催しています。

経営者さまや従業員さま個人の生活の充実に、また事業所さまの福利厚生の一環としてもお役立ていただいています。

- 事業所・団体向け出張セミナー開催回数(2023年度)：31回
- 事業所・団体向け出張セミナー参加者数(2023年度)：399名

5. シニア世代向け預金商品で資産運用をバックアップ！



シニア世代へのおトクな預金商品

当金庫では、お客さまの貯蓄ニーズにお応えするため様々な預金商品を取り揃え、シニア世代の資産運用にご活用いただいています。

●各種預金商品契約実績(2023年度)

「年金定期預金よろこび」	7,180件	152億円
「年金定期預金ハッピー」	4,358件	142億円
「ほほえみ60」	1,594件	38億円
「制度普及促進定期預金」	1,918件	51億円



街づくり支援

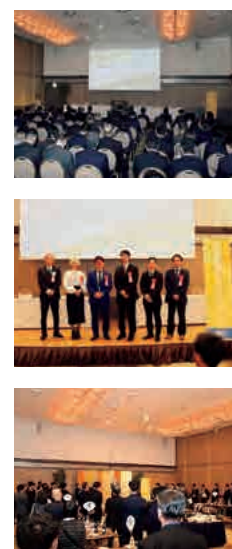
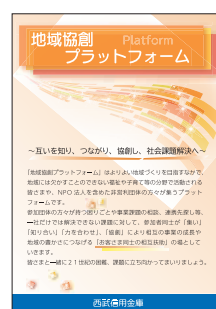
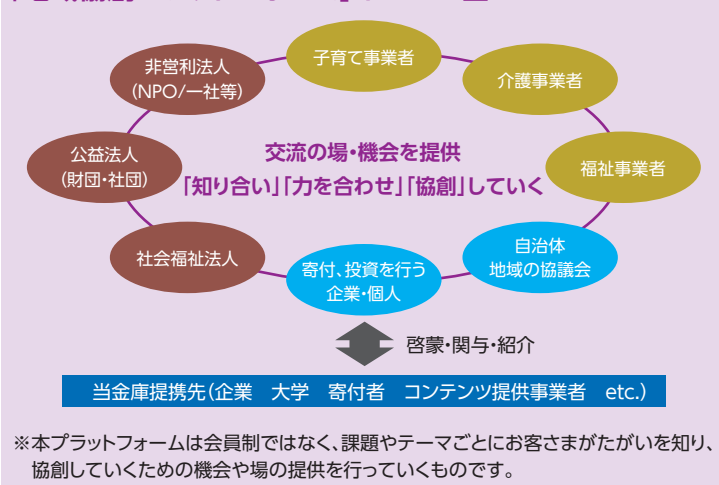
“ 当金庫は、地域の課題をビジネスで解決するコミュニティビジネスのご支援や、地域活性化のための取組みを通じて、地域の新たな創業や雇用の創出、働きがい・生きがいを生み出し、地域コミュニティの活性化に寄与したいと考え活動しています。 ”



1. 新たなプラットフォームの発足で地域のなかの協創事業のサポートを強化！

地域協創プラットフォーム発足

「地域協創プラットフォーム」イメージ図



当金庫は2024年1月に、地域に欠かすことのできない福祉や子育て、障がい者支援等の課題を解決し、より良い地域づくりを目指す「地域協創プラットフォーム」を起ち上げ、キックオフイベントを開催しました。一社だけでは解決できない課題に対し、参加者同士が「集い」「知り合い」「力を合わせ」「協創」することにより、相互の事業の成長や地域の豊かさにつなげ“お客さま同士の相互扶助”の場を提供してまいります。

2. 新融資商品&オフィスの提供でコミュニティビジネスをバックアップ！



地域・社会課題解決ビジネス応援融資(愛称:S-wish スウィッシュ)&西武コミュニティローン

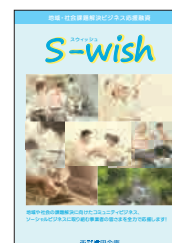
地域に資するコミュニティビジネスを営むお客さま専用ローン商品を通じて、皆さまの活動(子育て世代や高齢者支援等)を応援しています。

なお、2023年5月から新商品「愛称:S-wish (スウィッシュ)」地域・社会課題解決ビジネス応援融資の取扱いをスタート。SDGsやサステナブル、福祉や子育て等の課題解決に向けたコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに取り組む事業者の皆さまを応援しています。

コミュニティオフィスの提供

地域のコミュニティビジネスを営むお客さま専用のオフィススペースを当金庫荻窪支店に併設しています。2023年度にリニューアル工事が完了。より快適なスペースになりました。

・「西武コミュニティオフィス」(2005年開設)
当金庫 荻窪支店併設

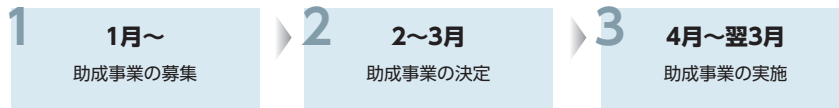


3. 助成金×若者のアイデアで地域の活性化をお手伝い！



地域みらいプロジェクト

「地域みらいプロジェクト」は、地域の活性化を目的に1989年から続く当金庫の地域貢献活動です。2023年度は、45団体の地域活性化等を目的にした61事業に2,925万円の活動資金を贈呈するとともに、各事業に当金庫若手職員等が参加させていただきました。



*上記は一般的な助成の流れです。

事例

新たなネットワークづくりのためのビジネス交流会・連携促進事業を応援したケース

東京商工会議所文京支部さまが手掛ける事業に、本助成制度を活用いただきました。具体的な取組みは、地域事業者向けの2つのビジネスイベント(9月:セミナー、2月:医工連携交流会)の開催です。各イベントの企画ミーティングからイベント当日の運営まで、当金庫本郷支店の若手職員が参加協力しました。なお、2024年度からは本郷支店若手職員1名が、東京商工会議所文京支部の青年部、幹事として参加させていただいています。



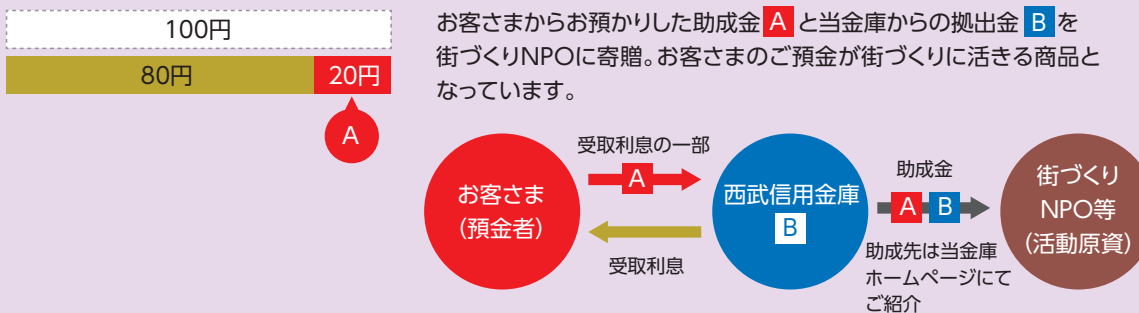
4. 助成機能付き定期預金で街の活性化をバックアップ！



地域みらい定期預金

「地域みらい定期預金」は、お客さまのご預金が地域の未来につながる寄付型預金です。

(例)満期受取利息(税引後)が100円の場合、助成金として20円を寄付いただくスキームです。



当金庫は、2008年より街づくりを担う地域のNPO法人等への助成機能付き定期預金を販売しています。2023年度は、2023年7月3日～12月29日の6ヵ月間販売しました。

●地域みらい定期預金実績：2,509件 133億6,478万円(2023年度)

地域みらい助成金

「地域みらい助成金」は、2008年に取扱いを開始した当金庫の助成制度です。2023年度の助成原資は、昨年度販売した「地域みらい定期預金」の満期お利息の一部と、当金庫の拠出金からなります。2024年3月6日に助成金最終選考会および贈呈式を開催し、助成先7団体さまが決定しました。なお、交付した助成金は、助成団体の皆さまの地域貢献活動に活用いただきます。



●地域みらい助成金贈呈実績：7団体 140万円(2023年度)

5. 行政・自治体との連携強化と地域のイベント参加で地域活性化をバックアップ！

行政・自治体との連携強化

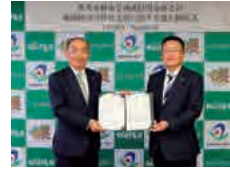
2023年度は、地域の事業者さまへのさらなるサポートの強化、地域活性化や産業振興への取組み、地域脱炭素や移住・定住の促進を図ること等を目的に、各自治体と各種連携・協定を締結し、積極的なサポートに努めました。今後もさらなる連携・協力体制を強化し、地域活性化に尽力してまいります。

地域イベントへの参加

2023年度は地域のお祭りやイベントが本格的にリアル開催で復活し、地域の皆さまとのふれあいの場に、当金庫職員一同、心躍らせながら参画させていただきました。今後も、地域活性化の一助となれるよう努めてまいります。



ひので桜まつり



さよなら
中野サンプラザ感謝祭

いよいよ来るよ！
みんなで乗ろう！
モノレールフェスタ

6. サステナブルな社会の実現に寄与する地域事業をバックアップ！

当金庫は、SDGsに寄与する取組みを積極的に応援しています。

「なかのSDGsパートナー」の登録

当金庫は、2024年1月に「なかのSDGsパートナー」制度に登録されました。本制度は、中野区が基本構想で描く街づくりの実現に向けた取組みを拡大し、SDGsの普及啓発を図ることを目的に中野区と連携してSDGsの推進や地域の課題解決に取り組む企業を募集する制度です。当金庫は「なかのSDGsパートナー」として、これまで以上に中野区との連携・協力を強化し、地域とともにSDGs推進や地域の課題解決に取り組んでまいります。



フードバンク

「NPO法人フードバンク八王子えがお」さまの活動に賛同し、2021年10月より八王子市内の店舗窓口に食品寄贈BOX『えがおボックス』を設置。食品を捨てずに寄付することで「食のロス」および支援を必要とする方に食料を届ける「食のセーフティネット」となる取組みを行っています。

*「えがおボックス」設置店：北野支店、榎原支店

2023

433食品

衣服回収

「一般社団法人リ・ファッション協会」さまの活動に賛同し、2022年3月より衣類の再利用（回収）の取組みを行っております。なお回収した衣類は、衣類の種類や状況に応じて、衣類としての再利用やチャリティ品としての活用のほか、再生・資源に再利用されます。

2023

1,492点

こどものみらい古本募金

当金庫は、こども家庭庁「こどもの未来応援国民運動」に賛同し、2020年11月より「こどもみらい古本募金」に参画しています。2024年1月より、本運動のさらなる普及のため、専用回収ボックスの設置を15店舗から全店舗（東京プライベートネット支店を除く）へ拡大しました。

本取組みは、読み終わった本を活用した寄付プログラムで、資源の有効活用と貧困の状況にある子どもたちへの支援を行うものです。本取組みにより、資源の循環と、すべての子どもたちが夢や希望を持てる社会の創出に寄与したいと考えています。

2023

790冊

こどもの未来応援基金「クリック募金」

当金庫は、2022年6月より、金融機関として初めて「こどもの未来応援基金「クリック募金」」に参画。貧困の状況にある家庭や子どもたちへ必要な支援を届けるためのお手伝いをしています。本活動は、こども家庭庁「こどもの未来応援国民運動」の取組みの一環で、特設サイトのバナーをクリックしていただくと、クリックされた方に代わり当金庫が1クリックにつき2円（2024年4月現在）を「こどもの未来応援基金」に寄付する仕組みとなっています。

2023

5,446回

●SDGs思考の取組み活性化のための資格取得状況（2024年3月31日現在）

SDGs・ESGベーシック検定資格保有者数	275名
-----------------------	------

●高齢者等のお客さまが安心して生活できる街づくりのための協力状況（2024年3月31日現在）

高齢者等の見守りに関する協定締結自治体数	31自治体
----------------------	-------

■2023年度の実績

事業支援活動

項目	実績
1. 専門家派遣	675先／1,321回
2. 公的支援施策取得活用支援	356件
3. 受発注相談による紹介、ビジネスマッチングの支援	5,161件
(うち受発注成約)	(896件)
4. 産学連携支援	163件
5. 西武事業承継支援センターの活用	285件
6. 海外展開支援	148社
7. M&A情報	192件
(うち成約)	(11件)
8. 創業融資による支援	383件

事業再生活動

項目	実績
1. 事業再生計画策定	125件
(事業再生計画策定先総数)	(474件)
2. 債務者区分ランクアップ	10件